

経営方針

◆第8次中期経営計画（令和5年度～令和7年度）

4つのプランと実践項目

I. 農業振興プラン

1. 地区営農ビジョンの策定と実践による地域農業の振興
2. 地域農業の多様な担い手の確保・育成・支援
3. マーケットインに基づく農畜産物の生産振興
4. トータルコスト低減による農業所得の確保
5. めぐみ野の取り組み拡充による産消提携活動の推進

II. 地域活性化プラン

1. 組合員と地域のニーズに応える総合事業の展開
2. 地域の特性を活かした地域活性化活動の展開

III. 経営強化プラン

1. 将来見通しを踏まえた経営計画の策定・見直し
2. 不祥事未然防止対策、内部統制の強化による経営の健全性の確保
3. 激しい環境変化へ適応できる経営体制整備

IV. 組織強化プラン

1. JAへの理解促進とメンバーシップの強化
2. 協同組合活動・事業活動を担う人材育成と確保

◆経営管理体制

当JAは、事業利用を目的とした農業者等により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、地区毎の正組合員代表者により推薦された者を候補者として提示し、総代会において選出しています。令和5年6月には役員任期満了に伴う改選が行われ、引き続き女性役員の登用を行い、女性の声を反映する仕組みを構築しております。

さらに、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

◆ J Aみやぎ仙南自己改革工程表

1. 自己改革実践サイクルへの取り組み

令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画等や第29回J A全国大会決議をふまえ、全国のJ Aにおいて、令和4年度より自己改革実践サイクルに取り組んでいます。

自己改革実践サイクルでは、①自己改革を実践するための具体的な方針、②中長期の収支シミュレーションをふまえた経営基盤強化の取り組み、③准組合員の意思反映及び事業利用の方針の3つを盛り込んだ自己改革工程表等をそれぞれの総代会で決定しています。

2. 「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」の位置づけ

「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」では「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化」「経営基盤の確立・強化」に関して実践具体策の策定・実践に取り組んでいます。中期経営計画とも強く関連させており、基本理念やビジョンを実現させるための戦略として重要な位置づけをしております。

3. 「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」(抜粋)

【自己改革を実践するための具体的な方針】

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を実現するため、当J Aでは組合員目線で必要な取り組みについて、「売上増加・コスト低減」に分類し目標の設定・実践に取り組んでいます。また、「地域活性化」に向けては、各種イベント等を開催し「農業振興の応援団」の拡充に取り組んでいます。取り組み項目は以下のとおりです。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた活動

- ア. 米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減
- イ. みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立
- ウ. 生産販売マッチングによる園芸作物生産面積の拡大
- エ. 大型規格農薬の普及拡大によるコスト低減（水田除草剤）

「地域活性化」に向けた活動

- ア. 7地区支店協同活動
- イ. 暮らしの活動
- ウ. 女性部・青年部食農教育活動

【自己改革の実践に向けた組合員の意思反映と「農業振興の応援団」】

自己改革工程表では、訪問活動を通じた組合員との対話、各種生産部会や組合員との対話・協議の際にいただいた要望などについて、上記基本目標を達成するために取り組むべき項目として設定しています。また、准組合員加入時アンケートや准組合員モニター制度、各種利用者アンケートの際にいただいている「地域の活性化や地域農業を応援したい」という准組合員の思いについては、「地域や地域農業の振興を後押しする存在（農業振興の応援団）」として認識しています。今後も、正・准組合員の利用状況を把握した上で、基本目標の実現に向け、正・准組合員が一体となったJ A運営を行いながら地域になくてはならないJ Aであり続けるため、不断の自己改革に取り組んでまいります。

【自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組み】

令和5年度末におけるJAみやぎ仙南の販売品販売高は、昨年度実績82億5百万円に対し85億22百万円となりました。

当JAでは独自にシミュレーションを実施しており、現状のまま事業改革を進めなかった場合の今後5年間の成行きについてシミュレーションでは、事業利益の減少が懸念される結果となっております。これまで行ってきた自己改革は事業成果への貢献はあったものの、事業利益減少の要因は依然としてJA全体の収支構造にあり、事業総利益の減少ペースが事業管理費の減少ペースを上回る見通しとなっております。

この状況を改善するため、全ての事業において事業利益の維持・拡大に向けた取り組みを進める必要があります。当JAでは、健全で持続性のある経営を確保するため、経営基盤強化に向け一層の費用削減と収益構造の改善に取り組んでまいります。

重点目標	成果指標・目標値		
農業者の所得増大・農業生産の拡大			
米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など <small>コスト削減効果</small>	目標	実績	目標
令和4年度 実績 フレコン出荷9,456t <small>継続</small> 30kgあたり122円	9,600t	9,844t	9,800t
みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など <small>売上増加効果</small>	目標	実績	目標
令和4年度 実績 仙台牛出荷率73% <small>強化</small> 枝肉1kgあたり300円	73%	73%	73%
生産販売マッチングによる園芸作物生産面積の拡大	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：中核的担い手や多様な担い手など <small>売上増加効果</small>	目標	実績	目標
令和4年度 実績 園芸作物生産面積222ha <small>(生産11品目)</small> <small>継続</small> 10aあたり250千円	240ha	224ha	245ha
大型規格農業の普及拡大によるコスト低減 (水田除草剤)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：必要とする全ての組合員 <small>コスト削減効果</small>	目標	実績	目標
令和4年度 実績 2,836ha <small>継続</small> 10aあたり160～500円	2,900ha	2,588ha	2,950ha
地域の活性化			
農産振興の応援団の拡大	令和5年度	令和6年度	令和7年度
令和4年度 実績	目標	実績	目標
各種イベント参加延べ 1,860人	2,000人	3,090人	2,000人

自己改革を含む事業活動への取り組みの様子は、「第8次中期経営計画 令和5年度の取り組み状況について」でもご紹介させていただいております。

JAみやぎ仙南ホームページでも公開中
<https://www.ja-miyagisennan.jp>



Check!

